

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成28年10月14日

【四半期会計期間】 第18期第3四半期(自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日)

【会社名】 株式会社デジタルデザイン

【英訳名】 DIGITAL DESIGN Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 星 川 征 仁

【本店の所在の場所】 大阪市北区西天満四丁目11番22号

【電話番号】 06 - 6363 - 2322

【事務連絡者氏名】 管理部 桐 山 雅 志

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田司町二丁目9番2号

【電話番号】 03 - 5259 - 5300

【事務連絡者氏名】 管理部 桐 山 雅 志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社デジタルデザイン 東京オフィス
(東京都千代田区神田司町二丁目9番2号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

1. 訂正の経緯

平成28年8月31日付「第三者委員会の調査報告書受領並びに当社の対応方針等に関するお知らせ」のとおり、第三者委員会より受領した調査報告書において、会社の申請要件を満たしていないものを「不備」（例えば、会議費の申請で、領収書のみが添付されており、利用目的や参加者などの詳細確認が出来ないケース。）、申請内容に不合理性や虚偽性が疑われるものを「不当」（例えば、物品の購入で、申請書記載の内容と証跡の内容が一致しないケース。）として訂正が必要とされた金額4,665,298円について、過年度に提出いたしました有価証券報告書及び四半期報告書の訂正並びに過年度に開示いたしました決算短信及び四半期決算短信の訂正作業を進める中で、平成28年9月6日に前代表取締役社長寺井氏より、会議の日時と参加者等を記録した新たな資料（寺井氏個人の手帖）の提出がなされました。この資料は第三者委員会の調査対象資料には含まれていなかったため、第三者委員会及び清和監査法人、ひびき監査法人、それぞれと協議の上、提出された資料により新たに経費設定すべきものが含まれていた点などを考慮し、平成28年9月17日、18日に前代表取締役社長寺井氏からの聴取及び証跡として提出された手帖と調査明細書の突合等を代表取締役 稔が実施しました。

その結果、新たに申請要件を満たしたものの、且つ会計上経費処理すべきものについて、取締役会として経費認定し、第三者委員会が平成28年8月31日に公表した「不備」の件数及び額と差異が発生することとなりました。なお、これらの結果については、第三者委員会へ報告を行っており、了承いただいております。以上の結果から「不備」とされた金額4,399,091円（1,092件）のうち、「不備」とされる金額は1,505,010円（352件）（内訳：旅費交通費736,368円、接待交際費84,993円、会議費422,710円、その他260,939円）となりました。なお、第三者委員会より、内容に不合理性や虚偽性が疑われ「不当」とされた金額266,207円（42件）については変更ありません。又、平成29年1月期第1四半期分「不備」「不当」とされた金額325,692円については、平成28年9月22日に同様の確認作業を行い、会社の申請要件を満たしていない費用（「不備」に該当）とされる金額115,696円（28件）、虚偽性が疑われるもの（「不当」に該当）とされた金額88,120円（4件）となり、過年度分と合わせて合計金額1,975,033円（426件）を本人への貸付金として訂正処理を行っております。

2. 会計処理

修正されるべき金額について、前代表取締役社長による精算処理の発生時期ごとに貸付金に振り替え、当該貸付金に対する利息を計上いたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成25年12月13日に提出いたしました第18期第3四半期（自平成25年8月1日 至 平成25年10月31日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、訂正後の四半期連結財務諸表については、ひびき監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

なお、当社の会計監査人であったペガサス監査法人は、平成26年7月1日付をもって大阪監査法人、新橋監査法人と合併し、名称をひびき監査法人に変更しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 資産、負債および純資産の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期包括利益計算書

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第17期 第3四半期連結 累計期間	第18期 第3四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自平成24年 2月1日 至平成24年 10月31日	自平成25年 2月1日 至平成25年 10月31日	自平成24年 2月1日 至平成25年 1月31日
売上高 (千円)	245,226	98,640	287,751
経常利益又は経常損失() (千円)	32,568	<u>33,054</u>	25,373
四半期(当期)純損失() (千円)	254,732	<u>35,674</u>	290,579
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	254,584	<u>35,378</u>	290,368
純資産額 (千円)	1,082,341	<u>1,011,178</u>	1,046,556
総資産額 (千円)	1,161,448	<u>1,047,065</u>	1,087,305
1株当たり四半期(当期)純損失 金額() (円)	94.66	<u>13.26</u>	107.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	93.2	96.5	96.2

回次	第17期 第3四半期連結 会計期間	第18期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 8月1日 至平成24年 10月31日	自平成25年 8月1日 至平成25年 10月31日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	64.31	<u>3.78</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成25年8月1日付で株式分割を行いました。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純損失金額を算定しております。

(訂正後)

回次		第17期 第3四半期連結 累計期間	第18期 第3四半期連結 累計期間	第17期
会計期間		自平成24年 2月1日 至平成24年 10月31日	自平成25年 2月1日 至平成25年 10月31日	自平成24年 2月1日 至平成25年 1月31日
売上高	(千円)	245,226	98,640	287,751
経常利益又は経常損失()	(千円)	32,568	<u>32,567</u>	25,373
四半期(当期)純損失()	(千円)	254,732	<u>35,186</u>	290,579
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	254,584	<u>34,891</u>	290,368
純資産額	(千円)	1,082,341	<u>1,011,665</u>	1,046,556
総資産額	(千円)	1,161,448	<u>1,047,585</u>	1,087,305
1株当たり四半期(当期)純損失 金額()	(円)	94.66	<u>13.08</u>	107.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	93.2	96.5	96.2

回次		第17期 第3四半期連結 会計期間	第18期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自平成24年 8月1日 至平成24年 10月31日	自平成25年 8月1日 至平成25年 10月31日
1株当たり四半期純損失金額()	(円)	64.31	<u>3.72</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成25年8月1日付で株式分割を行いました。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純損失金額を算定しております。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年オリンピック東京開催決定による景況感回復の気配、継続する円安による製造業の堅調ぶり等、明るい材料が散見され、一部で景気回復の兆しがみられました。

しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、モデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

集中すべき営業案件のチームマネジメントの強化に加え製品の機能強化をしてまいりましたが、開発案件の遅延及び新機能のお客様評価に時間がかかり、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高98,640千円(前年同期比59.7%減)、営業損失33,264千円(前年同期は営業利益28,603千円)、経常損失33,054千円(前年同期は経常利益32,568千円)、四半期純損失35,674千円(前年同期は四半期純損失254,732千円)となりました。

< 後略 >

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年オリンピック東京開催決定による景況感回復の気配、継続する円安による製造業の堅調ぶり等、明るい材料が散見され、一部で景気回復の兆しがみられました。

しかしながら、実体経済への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、モデリング技術を活用したシステム開発サービス、自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

集中すべき営業案件のチームマネジメントの強化に加え製品の機能強化をしてまいりましたが、開発案件の遅延及び新機能のお客様評価に時間がかかり、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高98,640千円(前年同期比59.7%減)、営業損失32,780千円(前年同期は営業利益28,603千円)、経常損失32,567千円(前年同期は経常利益32,568千円)、四半期純損失35,186千円(前年同期は四半期純損失254,732千円)となりました。

< 後略 >

(2) 資産、負債及び純資産の状況

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,047,065千円(前連結会計年度末と比べ40,239千円減)となりました。

流動資産は、685,884千円(前連結会計年度末と比べ29,942千円減)となりました。これは主に現金及び預金が656,093千円(前連結会計年度末と比べ11,372千円減)、受取手形及び売掛金が18,540千円(前連結会計年度末と比べ18,570千円減)となったこと等によるものであります。

固定資産は、361,180千円(前連結会計年度末と比べ10,297千円減)となりました。これは主に無形固定資産が15,821千円(前連結会計年度末と比べ3,687千円減)、投資その他の資産が165,416千円(前連結会計年度末と比べ6,812千円減)となったこと等によるものであります。

流動負債は、29,559千円(前連結会計年度末と比べ5,277千円減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が512千円(前連結会計年度末と比べ3,731千円減)、未払法人税等が3,639千円(前連結会計年度末と比べ2,462千円減)になったことによるものです。

純資産は、1,011,178千円(前連結会計年度末と比べ35,378千円減)となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,047,585千円(前連結会計年度末と比べ39,719千円減)となりました。

流動資産は、685,887千円(前連結会計年度末と比べ29,939千円減)となりました。これは主に現金及び預金が656,093千円(前連結会計年度末と比べ11,372千円減)、受取手形及び売掛金が18,540千円(前連結会計年度末と比べ18,570千円減)となったこと等によるものであります。

固定資産は、361,698千円(前連結会計年度末と比べ9,779千円減)となりました。これは主に無形固定資産が15,821千円(前連結会計年度末と比べ3,687千円減)、投資その他の資産が165,933千円(前連結会計年度末と比べ6,294千円減)となったこと等によるものであります。

流動負債は、29,592千円(前連結会計年度末と比べ5,243千円減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が512千円(前連結会計年度末と比べ3,731千円減)、未払法人税等が3,648千円(前連結会計年度末と比べ2,454千円減)になったことによるものです。

純資産は、1,011,665千円(前連結会計年度末と比べ34,891千円減)となりました。

第4 【経理の状況】

(訂正前)

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

<省略>

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年8月1日から平成25年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月1日から平成25年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてペガサス監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

<省略>

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年8月1日から平成25年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月1日から平成25年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてペガサス監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の会計監査人であったペガサス監査法人は、平成26年7月1日付をもって大阪監査法人、新橋監査法人と合併し、名称をひびき監査法人に変更しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成25年 1 月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
(単位：千円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667,465	656,093
受取手形及び売掛金	37,111	18,540
商品及び製品	5,023	4,699
原材料及び貯蔵品	538	591
その他	6,122	6,219
貸倒引当金	434	259
流動資産合計	715,826	685,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,826	26,226
減価償却累計額	1,321	2,280
建物及び構築物（純額）	23,505	23,946
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	1,586	1,824
工具、器具及び備品（純額）	589	350
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,740	179,942
無形固定資産		
のれん	10,982	7,156
ソフトウエア	7,901	7,058
その他	624	1,606
無形固定資産合計	19,509	15,821
投資その他の資産		
投資有価証券	12,176	12,220
差入保証金	18,115	17,452
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	46,220	40,027
長期貸付金	6,900	6,900
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	169,232	169,232
投資その他の資産合計	172,228	165,416
固定資産合計	371,478	361,180
資産合計	1,087,305	1,047,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 1 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	512
未払金	2,379	2,166
未払法人税等	6,102	3,639
前受金	16,885	17,897
その他	5,226	5,343
流動負債合計	34,836	29,559
固定負債		
長期預り保証金	5,867	6,267
繰延税金負債	43	59
固定負債合計	5,911	6,327
負債合計	40,748	35,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	1,422,170	1,457,845
株主資本合計	1,046,040	1,010,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	107
その他の包括利益累計額合計	79	107
少数株主持分	437	704
純資産合計	1,046,556	1,011,178
負債純資産合計	1,087,305	1,047,065

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 1 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667,465	656,093
受取手形及び売掛金	37,111	18,540
商品及び製品	5,023	4,699
原材料及び貯蔵品	538	591
その他	6,122	<u>1</u> 6,222
貸倒引当金	434	259
流動資産合計	715,826	<u>685,887</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,826	26,226
減価償却累計額	1,321	2,280
建物及び構築物（純額）	23,505	23,946
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	1,586	1,824
工具、器具及び備品（純額）	589	350
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,740	179,942
無形固定資産		
のれん	10,982	7,156
ソフトウェア	7,901	7,058
その他	624	1,606
無形固定資産合計	19,509	15,821
投資その他の資産		
投資有価証券	12,176	12,220
差入保証金	18,115	17,452
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	46,220	40,027
長期貸付金	6,900	<u>1</u> 7,417
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	169,232	169,232
投資その他の資産合計	172,228	<u>165,933</u>
固定資産合計	371,478	<u>361,698</u>
資産合計	1,087,305	<u>1,047,585</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 1 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243	512
未払金	2,379	2,166
未払法人税等	6,102	3,648
前受金	16,885	17,897
その他	5,226	5,368
流動負債合計	34,836	29,592
固定負債		
長期預り保証金	5,867	6,267
繰延税金負債	43	59
固定負債合計	5,911	6,327
負債合計	40,748	35,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	1,422,170	1,457,357
株主資本合計	1,046,040	1,010,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	107
その他の包括利益累計額合計	79	107
少数株主持分	437	704
純資産合計	1,046,556	1,011,665
負債純資産合計	1,087,305	1,047,585

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	245,226	98,640
売上原価	102,979	41,500
売上総利益	142,246	57,140
販売費及び一般管理費	113,643	90,405
営業利益又は営業損失()	28,603	33,264
営業外収益		
受取利息	2,361	135
為替差益	241	27
受取補償金	801	-
その他	561	47
営業外収益合計	3,965	210
経常利益又は経常損失()	32,568	33,054
特別損失		
投資有価証券評価損	20,136	-
貸倒引当金繰入額	1 162,332	-
訴訟関連損失	99,313	-
その他	2,684	-
特別損失合計	284,467	-
税金等調整前四半期純損失()	251,898	33,054
法人税、住民税及び事業税	2,705	2,352
法人税等合計	2,705	2,352
少数株主損益調整前四半期純損失()	254,603	35,406
少数株主利益	128	267
四半期純損失()	254,732	35,674

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	245,226	98,640
売上原価	102,979	41,500
売上総利益	142,246	57,140
販売費及び一般管理費	113,643	89,920
営業利益又は営業損失()	28,603	32,780
営業外収益		
受取利息	2,361	138
為替差益	241	27
受取補償金	801	-
その他	561	47
営業外収益合計	3,965	213
経常利益又は経常損失()	32,568	32,567
特別損失		
投資有価証券評価損	20,136	-
貸倒引当金繰入額	1 162,332	-
訴訟関連損失	99,313	-
その他	2,684	-
特別損失合計	284,467	-
税金等調整前四半期純損失()	251,898	32,567
法人税、住民税及び事業税	2,705	2,352
法人税等合計	2,705	2,352
少数株主損益調整前四半期純損失()	254,603	34,919
少数株主利益	128	267
四半期純損失()	254,732	35,186

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	254,603	35,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益合計	19	28
四半期包括利益	254,584	35,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,712	35,645
少数株主に係る四半期包括利益	128	267

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	254,603	34,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益合計	19	28
四半期包括利益	254,584	34,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,712	35,158
少数株主に係る四半期包括利益	128	267

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

1. 当社前代表取締役社長に対する債権として計上したものが、以下の通り含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年 1 月31日)	第 3 四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
流動資産		
その他		
(未収収益)	＝	3千円
固定資産		
投資その他の資産		
長期貸付金	＝	517千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア・ システム サービス事業	自社ビル賃貸 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	235,576	9,650	245,226	—	245,226
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	6,860	6,860	6,860	—
計	235,576	16,511	252,087	6,860	245,226
セグメント利益	73,259	10,331	83,591	54,987	28,603

(注) 1. セグメント利益の調整額 54,987千円には、セグメント間消去3,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 58,438千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業 (旧ソフトウェア・システム サービス事業)	自社ビル賃貸 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	89,520	9,120	98,640	—	98,640
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	5,682	5,682	5,682	—
計	89,520	14,802	104,322	5,682	98,640
セグメント利益又は損失()	3,023	7,478	4,455	37,720	33,264

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 37,720千円には、セグメント間消去1,700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 39,420千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソフトウェア・ システム サービス事業	自社ビル賃貸 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	235,576	9,650	245,226	—	245,226
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	6,860	6,860	6,860	—
計	235,576	16,511	252,087	6,860	245,226
セグメント利益	73,259	10,331	83,591	54,987	28,603

(注) 1. セグメント利益の調整額 54,987千円には、セグメント間消去3,451千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 58,438千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業 (旧ソフトウェア・システム サービス事業)	自社ビル賃貸 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	89,520	9,120	98,640	—	98,640
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	5,682	5,682	5,682	—
計	89,520	14,802	104,322	5,682	98,640
セグメント利益又は損失()	3,023	7,478	4,455	37,235	32,780

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 37,235千円には、セグメント間消去1,700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 38,935千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、ソフトウェア・システムサービス事業の名称をITサービス事業に変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

(訂正前)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年10月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年10月31日)
1 株当たり四半期純損失金額()	94円66銭	13円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	254,732	35,674
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	254,732	35,674
普通株式の期中平均株式数(株)	2,691,000	2,691,000

(注) 1 . 潜在株式調整後四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 . 当社は平成25年 8 月 1 日付で株式 1 株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(訂正後)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2 月 1 日 至 平成24年10月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2 月 1 日 至 平成25年10月31日)
1 株当たり四半期純損失金額()	94円66銭	13円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	254,732	35,186
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	254,732	35,186
普通株式の期中平均株式数(株)	2,691,000	2,691,000

(注) 1 . 潜在株式調整後四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 . 当社は平成25年 8 月 1 日付で株式 1 株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純損失金額を算定しております。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年10月13日

株式会社デジタルデザイン
取締役会 御中

ひびき監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 瀧 川 鉄 雄 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 木 下 隆 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社デジタルデザインの平成25年2月1日から平成26年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年8月1日から平成25年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年2月1日から平成25年10月31日まで)に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社デジタルデザイン及び連結子会社の平成25年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年12月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。